

議事概要

(1) 日本遺産～北前船寄港地～魅力発信について（資料1）

P1～P6

《観光戦略課 川口係長説明》

【委員】寄港地間のつながりはあるのか

【観光戦略課】継続して開催されている北前船寄港地フォーラムへ参加した際や、日本遺産へ認定されている38市町で組織された推進協議会などを通じて情報共有や意見交換を行っています。

【委員】登録される寄港地が増えると鳥取市が埋もれてしまうのではないか

【観光戦略課】言われるとおり、認定される寄港地の数が増えると鳥取市個別のPR効果は薄まると思われませんが、北前船のストーリーなどのPR力はスケールメリットもあるため非常に高くなると思われます。日本遺産の北前船寄港地であることを活用し、鳥取市として魅力を発信していくことが大切だと思っています。

(2) 兵庫県立考古博物館施設総括及び青谷上寺地遺跡史跡整備事業について（資料2）

P7～P11

《事務局説明》

【委員】29年度妻木晩田遺跡、30年度大中遺跡を視察した。青谷上寺地遺跡史跡整備の基本設計や実施設計の中に地域振興会議の意見が取り入れられるべきだと思う。

【事務局】地域住民でどのように盛り上げていくのかなどのソフト面が重要だと思います。基本設計や実施設計について、青谷地域振興会議で出た意見を伝えていきます。

【委員】考古博物館を視察し、眺望のよい展望台が必要だと感じた。整備をする際は展望台を作って欲しい。

【委員】青谷の魅力のそれぞれを発信するのは大変だと思う。

【事務局】単体ではなく「青谷上寺地遺跡」「北前船寄港地」「青谷地区内の古い街並み」などの観光資源をつなげて青谷町の魅力を発信することが大切だと思っています。

【委員】弥生人の脳は確かにすごいモノだという認識はあるが、一般の人は一度みたら十分と感じている。例えば、発掘された場所を「奇跡の場所」としてPRできたら集客につながると思う。

【委員】遺跡公園のグランドオープンに持っていくまでの町民の熱意が必要だと感じる

【委員】ハード部分については、意見は言えてもどうしようもない部分もある。ソフト部分である「ボランティアガイド」「お土産開発」等がかかわっていくことが大切。

【委員】青谷上寺地遺跡だけでなく青谷町の魅力を説明できるガイド養成が必要だと思う。

【委員】ボランティアガイドにぜひ青谷高校生を活用していきたい。

【委員】新しい物を作るだけでなく、今ある青谷南側周辺の不用な物を整理することも大切。また、ガイド養成だけでなく、組織を運営していく人材を育てることが課題だと思う。

【委員】学術的視点からだけでなく、地域振興に結び付けた有効活用が必要だと思う。

(3) 台風24号関連災害報告等 資料3 P12~P13

(事務局説明)

実際に被災された特別養護老人ホームなりすな施設関係者からの報告

○今までに経験したことが無いような想定を超えた床上浸水となりました。9月1日に福祉ゾーンで総合訓練を行っていたので職員間のつながりが出来、今回の避難に役立ちました。

【委員】 早めの避難の必要性を感じた。

【委員】 音声告知専用端末機を使った臨時放送が聞こえて良かった。屋外のデジタル防災無線が聞こえなかったのも、行政からの情報が入らなかった人も多かったと思う。音声告知専用端末機の設置の推進を図って欲しい。また、高齢者等世帯に対する更なる補助も考えて欲しい。

【委員】 自治連の役員会でも、音声告知専用端末機設置を推進したいと話しています。

【委員】 一般家庭で床上浸水の被災された方が、災害ゴミの無料回収があり良かったと言われていた。

【委員】 青谷子ども学園で様々の団体の方が携わってボランティア活動をされていた。一人では参加しにくい知り合い等を誘いあって活動することはできると思うが、どうしたらいいのかわからなかった。

【事務局】 ボランティアのとりまとめは、社会福祉協議会です。

【委員】 社会福祉協議会が対応することを知らない人が多いので広報出来たらいいと思う。

【委員】 勝部川の上流でも被害があった。堤防などを含め、現地の確認や点検をお願いしたい。

【事務局】 現在、土砂災害関係箇所などの現地を確認中です。住民のみなさんから報告のあった箇所を確認に行きますと、ほかにも被災箇所が発見されるため、最初の報告よりも件数がかかなり多くなっています。

今回の台風24号では短時間でまとまった雨が降ったため、一時に大量の水が流れ、広範囲の冠水や、斜面・法面の土砂崩落、宅地・農地等への土砂流入などが多く発生しました。

早期に被害状況を調査し、道路水路などの公共施設、農地や農業用施設、急傾斜地などについては災害復旧事業をすすめます。あわせて道路や危険箇所などの応急復旧対応も行いますが、市で対応できることは限られています。

住民のみなさまには、水かさが急に増えたとか、今まで見たことがないところから水が流れてきたなど、今回経験されたことを今後の自らの生命財産を守るために生かしていただき、日ごろの防災対策や早期避難などの必要性を記憶にとどめて頂くようお願いしています。

【委員】 避難指示が出たが該当集落の避難の状況はどうだったのか

【事務局】 世帯数ではなく、人数で把握しています

【委員】 避難の割合が少ない場合、どのように指示を出すかが課題だと感じる。

【事務局】 防災無線、音声告知放送、消防団、広報車で広報しました。近所での声掛けも大切だと思っています。

【委員】 避難指示の意味を理解してもらうことが必要

(4) 青谷高等学校活性化を支援する会事業報告について(資料4) P14~P21

《事務局説明》 意見等特になし

(5) その他

【委員】長尾灯台の草刈りについてはどうなっているのか

【事務局】今年度は、10月28日開催のふるさと探訪ウォーキングに合わせて、草刈を行います。

【委員】景観が良い所なので一帯の草刈りが出来ないか

【事務局】灯台は海上保安庁の管轄で、普段は施錠してあります。草刈作業について海上保安庁に要望していきます。

委員研修会 認知症サポーター養成講座

講師：鳥取西地域包括支援センター 倉本保健師

【委員】認知症の予防のためには水分補給が大切と聞いたが、認知症を遅らせるためにも水分補給は有効か

【保健師】脳の大部分は水分です。水分不足が認知症の症状を悪化させることから、水分補給は有効です。

【委員】完治する認知症はあるのか

【保健師】認知症の進行を遅らせることはできますが、完治はありません。進行を遅らせることで、生涯大きな問題もなく穏やかに生活をする事が出来ます。

【委員】認知症の原因は、遺伝が強いのか、生活習慣が影響するのか。

【保健師】両方ありますが、遺伝は変えようがないので、生活習慣を変えることが認知症予防になると思います。また、生活習慣病の治療をすることも大切だと思います。

【委員】家族がデイサービスから帰ってきた日は、笑顔もあり会話がはずむので、要介護度が低くてもデイサービスの回数が増えたらいいなと感じている。

【保健師】デイサービスだけでなくサロンなど地域の中にも高齢者の居場所が必要です。地域の中での居場所を作る活動もしていますのでご協力をお願いします。